



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5302 URL <https://www.carbon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部長 (氏名) 藤川 浩史 TEL 03(6891)3730  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	22,258	14.6	2,197	△3.5	2,395	△15.5	1,451	△0.9
2020年12月期第3四半期	19,416	△42.4	2,277	△80.8	2,833	△75.4	1,464	△80.7

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,102百万円 (114.2%) 2020年12月期第3四半期 981百万円 (△87.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	131.34	—
2020年12月期第3四半期	132.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	70,841	50,828	61.8	3,964.89
2020年12月期	70,930	50,998	62.2	3,989.30

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 43,787百万円 2020年12月期 44,146百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2021年12月期	—	100.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	11.9	3,300	9.5	3,600	0.4	2,000	10.5	180.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	11,832,504株	2020年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	788,663株	2020年12月期	766,371株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	11,050,601株	2020年12月期3Q	11,065,016株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大で長期間に亘り緊急事態宣言が発出された影響で個人消費に弱さが見られましたが、企業の生産活動は回復の動きが見られ、また、停滞していた設備投資が持ち直したことから、基調としては緩やかな改善の動きが続きました。しかし、足元では感染症によるサプライチェーンの混乱、半導体の供給不足等により自動車の減産が続くなど、下振れリスクが懸念される状況が続いています。

世界経済は、感染症の抑制状況や経済対策の状況により回復に濃淡が見られ、先行きは不透明さが増えています。米国では、ワクチン接種の普及や大規模な経済対策等を背景に経済は感染症以前の水準を回復した一方、インフレ率の上昇懸念から利上げが示唆され、足元では成長の鈍化が見込まれています。中国では、輸出や個人消費が経済をけん引した一方、感染症再拡大に対する措置や一部産業向けの規制強化等が下押し要因となり、経済の停滞が懸念されています。欧州では、ワクチン接種の進捗によりユーロ圏および英国ともに持ち直しの動きが続きました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、国内粗鋼生産は前年上半期と比べてプラスとなり、感染症拡大前の2019年度の水準には及ばないものの、総じて改善が見られました。また、半導体関連産業は、データセンターや5G向け等の最終製品需要を背景に、販売が好調に推移しました。

こうした事業環境の中、当社グループは、生産効率の向上と原価および環境負荷の低減、販売力を高めるための販売網強化を推進してまいりました。また、企業市民として、コンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高222億5千8百万円（前年同四半期比14.6%増）、営業利益21億9千7百万円（前年同四半期比3.5%減）、経常利益23億9千5百万円（前年同四半期比15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億5千1百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

## (炭素製品関連)

電極部門は、昨年落ち込んでいた鉄鋼産業の生産が持ち直している影響により販売量が徐々に改善しております。

ファインカーボン部門は、半導体関連市場の投資が下支えとなりました。リチウムイオン電池負極材は、車載向けの販売が持ち直したことにより、堅調な売上が維持されました。

この結果、売上高は205億5千6百万円（前年同四半期比17.9%増）、セグメント利益（営業利益）は19億3千7百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

## (炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売については、航空産業の悪化が影響し、販売量の低迷が継続しました。

この結果、売上高は11億1千万円（前年同四半期比14.3%減）、セグメント利益（営業利益）は1億6千3百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

## (その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が減少した結果、売上高は5億9千1百万円（前年同四半期比14.5%減）、セグメント利益（営業利益）は8千万円（前年同四半期比55.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8千9百万円減少し、708億4千1百万円となりました。流動資産は、たな卸資産が11億8千3百万円、未収還付法人税等が12億3千6百万円減少しましたが、現金及び預金が20億3千万円、売上債権が8億5千5百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億8千2百万円増加し、433億1千1百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が4億9千2百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億7千2百万円減少し、275億3千万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ8千1百万円増加し、200億1千2百万円となりました。流動負債は、工場移転関連費用引当金が1億5千9百万円減少しましたが、仕入債務が3億3百万円、賞与引当金が2億5千1百万円、未払法人税等が1億9百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億3千万円増加し、160億1千1百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が2億3千4百万円増加しましたが、長期借入金金が5億9千7百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億4千9百万円減少し、40億1百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加が4億4千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が14億5千1百万円ありましたが、自己株式の取得が9千8百万円、配当金の支払が22億1千1百万円あったこと等により、前連結会計年度末に比べ1億7千万円減少し、508億2千8百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において2021年2月10日に発表いたしました2021年12月期の通期の業績予想は修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,600	16,631
受取手形及び売掛金	9,228	10,084
商品及び製品	9,366	8,272
仕掛品	4,524	5,069
原材料及び貯蔵品	3,469	2,833
未収還付法人税等	1,350	114
その他	509	327
貸倒引当金	△20	△22
流動資産合計	43,028	43,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,227	17,390
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,806	△10,158
建物及び構築物（純額）	7,420	7,232
機械及び装置	45,516	47,195
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,778	△38,849
機械及び装置（純額）	7,737	8,345
車両運搬具及び工具器具備品	3,293	3,379
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,810	△2,938
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	483	441
土地	3,524	3,539
建設仮勘定	968	85
有形固定資産合計	20,135	19,643
無形固定資産	198	275
投資その他の資産		
投資有価証券	5,026	5,342
繰延税金資産	334	373
その他	2,209	1,897
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	7,567	7,610
固定資産合計	27,902	27,530
資産合計	70,930	70,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,321	3,625
短期借入金	9,425	9,430
未払費用	587	601
未払法人税等	466	575
賞与引当金	146	398
役員賞与引当金	43	36
受注損失引当金	13	—
工場移転関連費用引当金	159	—
その他	1,418	1,344
流動負債合計	15,580	16,011
固定負債		
長期借入金	2,562	1,965
繰延税金負債	422	657
退職給付に係る負債	771	772
役員退職慰労引当金	52	56
役員株式給付引当金	70	83
環境対策引当金	28	28
資産除去債務	62	62
その他	380	374
固定負債合計	4,351	4,001
負債合計	19,931	20,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	29,287	28,527
自己株式	△1,913	△2,011
株主資本合計	42,634	41,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,542	1,991
為替換算調整勘定	53	93
退職給付に係る調整累計額	△84	△73
その他の包括利益累計額合計	1,511	2,010
非支配株主持分	6,852	7,040
純資産合計	50,998	50,828
負債純資産合計	70,930	70,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	19,416	22,258
売上原価	14,013	16,990
売上総利益	5,402	5,267
販売費及び一般管理費	3,125	3,069
営業利益	2,277	2,197
営業外収益		
受取配当金	70	53
為替差益	16	100
持分法による投資利益	—	9
受取保険金	718	191
その他	231	92
営業外収益合計	1,037	447
営業外費用		
支払利息	51	45
持分法による投資損失	110	—
固定資産除却損	137	2
休止固定資産減価償却費	108	112
その他	73	88
営業外費用合計	481	249
経常利益	2,833	2,395
特別利益		
投資有価証券売却益	21	179
特別利益合計	21	179
特別損失		
火災損失	247	102
工場移転関連費用	—	84
特別損失合計	247	187
税金等調整前四半期純利益	2,607	2,387
法人税、住民税及び事業税	648	825
法人税等調整額	128	△12
法人税等合計	776	813
四半期純利益	1,831	1,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	367	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,464	1,451



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,831	1,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△854	455
為替換算調整勘定	△5	63
退職給付に係る調整額	9	10
その他の包括利益合計	△850	528
四半期包括利益	981	2,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	1,956
非支配株主に係る四半期包括利益	358	145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役等に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は213百万円、株式数は609百株、当第3四半期連結会計期間の期中平均株式数は543百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,429	1,295	692	19,416	—	19,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	6	740	748	△748	—
計	17,430	1,301	1,432	20,164	△748	19,416
セグメント利益	1,904	178	182	2,265	11	2,277

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,556	1,110	591	22,258	—	22,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	1,003	1,010	△1,010	—
計	20,556	1,116	1,595	23,268	△1,010	22,258
セグメント利益	1,937	163	80	2,181	16	2,197

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。